

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。
この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院
で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの情報を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問
い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない
場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	自然言語の指示に基づいて医療情報を抽出するエージェント AI の開発
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	医療情報学講座 教授 木村映善
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象となる方	愛媛大学医学部附属病院を受診された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、受診時年齢、受診・入院診療科、合併症、既往歴、身体所見、検査結果、処方・注射・処置、患者基本情報、アレルギー、病名、入退院歴、手術等、電子カルテに格納されている全ての期間のデータ
研究の概要 (目的・方法)	電子カルテのデータを臨床研究に利用したり、診療業務や医療安全に役立てたりすることが行われるようになっております。しかし、電子カルテのデータベース構造は専門的な知識を持つ者以外には理解しがたいものでありながら、データの利活用のニーズが増えているために、病院情報システムの管理者の負担が増えています。 そこで、近年に著しい進歩を遂げている Large Language Model (LLM) や Large Multi Modal Model (LMM) という人間の言葉を理解してプログラムを自動作成する AI を応用し、医療従事者のリクエストに応じて電子カルテシステム等からの医療情報を抽出するプログラムを自動的に作成する AI エージェントの開発を着想しました。 このエージェント AI には、当院のこれまでの研究や診療業務用にデータ抽出のリクエストを頂いた業務記録と当院の医療情報システムのデータベースの構造の情報を LLM/LMM に学習させます。そして、実際に LLM/LMM にデータ抽出の質問をして、期待通りにデータ抽出ができるかどうかを検証していきます。

	様々なデータ抽出のシナリオを設けますので、電子カルテシステム内に格納されている患者さんの情報に広くアクセスし、結果として抽出されます。但し、その結果は正解かどうかを検証するためのみに使われ、検証が終了次第直ちに廃棄され、他の目的に利用されることはありません。 このエージェント AI に関する要素技術が実用化すれば、医療従事者が患者さんについての情報を速く入手したり活用したりすることができるようになり、診療業務の効率化や医療安全に貢献することが期待されます。
個人情報の保護 について	研究遂行中に収集した情報はプログラムが正しく機能しているかを検証するために使われ、その検証が終了した後は直ちに破棄されます。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。共同研究をする企業とは、秘密保持契約を締結し、院内で作業いただき、院外への持ちだしを禁止いたしますので、患者さんを直接特定できる情報が企業に渡ることはありません。情報の管理責任者は研究責任者が兼任いたします。 さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部医療情報学講座 木村映善 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5695